

# 第6回臨時会

## 税金のむだ使いはなかったか

### 平成19年度 14会計の決算認定

平成19年度一般会計をはじめとする14会計の決算認定議案は、9月定例会において、市長の提案説明、栗本勲二代表監査委員の監査報告の後、全議員で構成する決算審査特別委員会に付託されました。

同委員会では、所管の常任委員会に分担し、9月29日から10月15日までの5日間、執行部の出席を求め、決算書や附属資料等により、細部にわたり審議を行いました。10月の臨時会で、上田特別委員長から「認定すべきと決した」と審査結果の報告があり、賛成多数で決算を認定しました。

#### 付帯意見

##### 総務関係

- ①市財政の健全化のため、行財政改革など積極的な施策を図りたい。
- ②市民の利便性等を図るため、バスと船の接続時間について最大限の努力をされたい。
- ③職員の定員管理については、適正化計画に沿った対応をされたい。
- ④遊休市有地の積極的な活用や売り払いの検討をされたい。

##### 文教厚生関係

- ①市税・保育料・国保税・住宅新築資金等貸付償還金等の徴収については、市民の目線に立った立場で徴収に努められたい。
- ただし、悪質滞納者の収入未済額の解消及び不納欠損については、納税者の不公平感を招かないよう積極的な対応をされたい。
- ②増加しているごみの不法投棄の減少を図るため、自治会の協力や監視パトロール等有効な対策をされたい。



▲高田桟橋で乗客を待つバス

##### 産業建設関係

- ①農業の振興を阻害しているイノシシの被害対策、

特に捕獲強化を図られたい。

- ②カキむき身生産量日本一のブランド化のため積極的な対策をされたい。
- ③交通船事業については、市民の利便性確保のため一層の経営努力を望む。
- 又、船員の就業規則等の整備遵守をされたい。
- ④国民宿舎事業については、職員の経営管理規程等の整備遵守をされたい。
- ⑤公共下水道事業は、地域と人口減の実態を充分把握し、事業の見直しを含め中长期計画を図られたい。



▲日本一のカキのむき身

# 委員会報告

## 文教厚生常任委員会

平成20年8月7日・8日に3か所視察研修し、11月19日に執行部の出席を求め、委員会を開催しました。

### ①福山市沼隈町 「循環排水再利用水洗トイレ」

#### 質疑

**Q** バイオトイレは家庭に使用しないか。

**A** チソン・リンの解決がこのトイレでは、まだ国の基準をクリアしておらず使えない。

**Q** 江田島産の力キ殻を使用、地場産業育成にメリットがあると思うが。

**A** カキ殻の再利用はいいことです。現在県内2業者が肥料・化粧品や漁礁に活用している。

### ②島根県出雲市 「廃食油軽油代替燃料化事業」

#### 質疑

**Q** 江田島市のバス・船に供給できると燃料代が安くつくか。

**A** グリセリン・メタノールの除去が完全にできるとよい。現在技術が進歩して改善しているが、現状では難しい。

**Q** あとはやる気・計画書を作つて判断されては。

**A** 原価86円でできる。採算性はあると思う。回収方法や場所の問題。環境問題から言うとういことだ。市民の皆様が協力をお願いしないといけない。精製機も補助があるのか、検討する。

**Q** 来年度調査費を計上し特命担当においてステツプアップして欲しい。

**A** 厳しい財政状況ですが、政策会議に諮っているいろんな角度から検討している。一年くらい研究期間をください。



▲ 神石高原町視察

### ③広島県神石高原町 「小島共同福祉施設」

#### 質疑

**Q** 学校跡地を老人ホームのような使い方をしているか。

**A** 教育委員会からの提案は難しい。担当部から話しがあれば、市役所内で協議をします。公の施

設となると、耐震の問題も生じ福祉施設としての使用は難しい。

**Q** 大君小を將來道の駅に出来ないか。

**A** 校舎を、市が道の駅として使うのは支障がない。

## 企業会計特別委員会

10月21日に交通船・国民宿舎・水道事業の今後について、執行部等の出席を求め、委員会を開催しました。

### (1)交通船の今後について

#### 質疑

**Q** 経営資金繰りはどうか。

**A** 8月は燃料代の支払いに困ったので、一時借入金5千万円に対応しました。

**Q** 年度末ではどうか。

**A** 約9千万円不足の見込みです。12月定例会で補正予算をお願いをしたい。繰入金がないと運行できない。

### (2)国民宿舎事業の今後について

#### 質疑

**Q** お客の声を反映させては。

**A** 意見を良く聞き対応するとともに、職員の接遇など研修を積んで改革を図ります。

### (3)水道事業の今後について

#### 質疑

**Q** 三高水源地から1日当たり1千トン上水に使用しているが、更に活用することはできないか。

**A** 2年前の断水災害の時、概算計算しましたが、太田川からの送水を利用するのが一番安かった。

**Q** 三高水源地は60万トン貯水している。そのうち40万トン農業用に利用しているがほかに活用は出来ないか。

**A** 貯水量が多く溜め水状態になり、水質が悪化し、浄水には不適當です。



▲ 三高水源地